

家庭の圓滿は忍耐に依りて生ず

小貝 貞子

世は日に月に進み、女子教育の如き又長足の進歩を見るに至り、従来は男子のした事を女子迄がする様になつて参りました、内地に於ては勿論、遠く暹羅、蒙古等に、女子が單身で出掛けて行く云ふ様な事は、全く近來教育進歩の結果と云はねばなりません、斯んな風であるから、昔の女子と今の女子と比較すれば、今の人は昔の人より立優つて居なければならぬ譯であります、實際のところ、劣る點があるのです、先づ第一に家庭を圓滿に治めると云ふ事、是れは到底昔の女子に比すべくもないのであります、何故でしようか、或人は西洋風が入つて來たとか、教育の方法が悪いとか、又は社會の罪だとか、家庭教育に缺陷があるとか云ひますが、私は是れ以外、即忍耐力の缺乏が主因を成して居ると思ひます、此事實は昔の

一六

女子の方に就て見れば仔細に分明する事で、一例を挙げますれば谷子爵の夫人の如き、最も好く之を證明して居ります、尙私の友人に十年間夫にキラハレ、其間忍耐に忍耐して遂には夫を動かし姑を感じしめ、茲に圓滿なる家庭を結んで、前の苦痛を償ふても尙餘りある至幸至福の身となつたものがあります、口の十年間は瞬間です、けれども數の十年間は如何に永い日月でせう、私は感嘆の餘涙の下るを覺えぬ位、此れは一二の事例です、昔の女子の學問は淺かつたが、武士氣質を吹き込まれて居たので辛棒も従つて強かつた事と思はれます、是れに依つて見るも、今日の女子は學問智識以外更に精神の修養を爲さねばならぬと考ひます、斯様に申せば若い者許り責めると仰つしやるかも知りませんが、姑も亦此場合相當に忍耐をして欲しい、姑と嫁とは如何して年齢に於て二昔、ザツと廿年の相違があるから、物好みも亦従つて相違する點が多い、故に姑は嫁に對して自

分の思ふ鑄型に入れ様とするは無理である、姑と嫁との不和は主として斯る場合に生ずるのであります、故に姑は道理に外れぬ範圍に於て嫁に自由を與へ、些事は成るべく互に忍耐をするを可いと思ひます、或老人は曰はれました、子に向つて親に恩を返せと迫るは無理也、子は其子を養育するの重任を帯べりと、味ふべき言葉で、嫁の心をも亦察して居る人であると云ふ事が明瞭に讀まれます、又或人は娘を嫁に遣はすに際つて、夫の愛せらるゝよりも、先其親に愛せらるゝ様心掛けよと申されました、是等は夫れ々々味ひて興味の盡きぬ話でありますが、授實際に臨んでは何れも至難な事柄であります。

之を要するに姑は嫁を愛し、嫁は姑を敬するは勿論でありますが、其間に生ずる萬般の事、譬へば不利の動機となる様な場品に、互に忍耐を以て成るべく自己を制する事は、家庭を圓滿にして幸福なる一生を送る最上の方法であると思ひます而し

て此難關を切り抜けた人は、世に立つても、立派なもので、忍耐をした、苦勞をしたと云ふ人と、然らざる人とは、誰の目に見ても玉と石との差のある事は争はれぬ事實であります。

◎偉人の母は皆田舎に住めり

下田歌子

男子とは違つて女子が家を飛び出して一人よるべなき都の空にあこがれるのは餘り同情されません。其の理由は自分勝手に出京いたした女學生は十中の八九はわたり者が両親のもてあまし者か、兎に角餘り感心の出来ぬ者の方が多いやうであります。一體女子が學問して豪い者になるのは先づ格外であります、今更改めて申迄もありませんが、茲にはじめて社會有益なる人物を作るところの隠れたる家庭教師となるのであります。樂しきホームを作つたり或は人物を生ずるば必ずしも都に限る譯ではありせん。

ワシントンには實に世界的偉人であります、其お母さんの事を見ますると、いつも生地の小村に潛んで、家事を整理し、愛兒を撫育するの任を重んじて、一度だに都の地に足踏みした事はありませんでしたが、其子は英名を世界に轟し又米國をして今日の如く富強ならしめたる大政治家となつたのであります、諸葛孔明の妻はさぞ豪い行ひでもあつた者のやうに思われますが、さうではなく片舎田に多くの桑畑を所有して婦女のする業に就て居りまして又我國では楠公の母公は河内の生地を離れた事のない方でありました、古今東西英雄の母たり妻たる人は唯々女子の本分をよく務めたと云ふ一點であつて、其結果として世界的豪傑歴史に有名な人物を出しました。